



「プラス1点」にこだわる！

今回は文字が多いですが、頑張って最後まで読んでください！

あさってから中間テストが始まります。今年度最初の定期テストであり、1年生にとっては、中学生になって初めての定期テストです。ゴールデンウィークや昨日までの土日は、計画どおり、確実に勉強しましたか？やり残した内容がある人は、残された時間の中で、工夫して解決してください。昼休みだって、ムダに過ごしてはいけません！

ところで、私たちの社会の中には、さまざまなテスト（試験）があります。大きく分けると2種類です。1つは、ある一定の基準を満たしていれば、全員合格になるもの。運転免許証のような資格を得るための試験がこれに当たります。もう1つは、合格者の数が決まっていて、成績の良い順に選ばれるもの。多くの人が経験する高校入試などがこれに当たります。

どちらの種類の試験にも、共通していることがあります。それは「1点足りなくても不合格になる」ということです。資格試験の場合、仮に80点が合格ラインだとすると、それ以上の人は何人でも合格するでしょうが、79点の人は不合格になります。高校入試の場合、仮に定員が100人だとすると、101番目の人は、たった1点足りなくても不合格になります。（高校入試の場合の点数は、当日の学力検査の点数だけではなく、面接や調査書も含めた総合的な点数になります。）これって、かなりのプレッシャーです。特に、高校入試は「人生で最初の試練」と言われるように、毎年、どの学校の中学3年生も、このプレッシャーと戦います。

プレッシャーがかかる場面で、少しでも良い結果を出すためには、それまでにどれだけ経験を積んで実力を発揮できるようにしておくかということが重要です。大会やコンクールの前に、本番さながらの試合や練習を行うのは、そのためでしょう？勉強も同じです。そこで、皆さんに呼びかけたいのは、**「普段から、プラス1点にこだわれ！」**ということ。これだけ聞くと、点数至上主義のように聞こえるかもしれませんが、決してそうではありません。また、点数が学力のすべてだとは思っていません。しかし、点数で結果が決まることがあるのも事実です。ですから、「プラス1点」にこだわってほしいのです。

「プラス1点」と言っても、いろいろあります。「ライバルよりプラス1点」というものもありますが、「前回の自分のテストよりプラス1点」ということもあります。また、「一応できる問題は解いたけど、まだ時間があるから、あと1点増やせるように頑張ろう」という粘りも大切です。でも、重要な試験の時にだけ「プラス1点」を考えても、かえって緊張しますから、**普段の試験から、「プラス1点」にこだわって粘ることが必要です。また、そのための事前の準備が重要であるということ、言うまでもありませんね。**こういった積み重ねが習慣となり、プレッシャーがかかる場面でも実力を発揮できることにつながります。そして、自分自身の進路を切り拓くことにつながるのです。どうか今回の中間テストから、皆さんなりの「プラス1点」のためのこだわりや粘りを見せてください！



＜新型コロナウイルス関連のお知らせ＞

すでに報道等でご承知のとおり、「香川県コロナ非常事態宣言」が発令され、5月9日から31日まで、最も高い警戒レベルである「緊急事態対策期」に移行されました。部活動については、現時点では練習試合や合同練習などの停止が31日まで延長されることが決まっていますが、今後の感染拡大状況によっては、さらに規制が厳しくなることも考えられます。報道の内容によると、感染事例の中には「家庭内感染」が多く見られ、屋外での飲食時の感染も報告されています。マスクの着用や手洗い・手指消毒など、これまで以上に感染防止対策を徹底しましょう。学校・家庭・地域みんなで、大切な人の命を守るため「うつらないこと」「うつさないこと」を徹底しましょう。慣れや油断は禁物です。**夏の総体やコンクールが開催できるように感染を封じ込めるため、みんなで力を合わせましょう。**

※ 今回は、紙面の都合で「三中生のちょっといい話」はお休みします。すみません。